

令和6年度



# しもよねだ

第8号

令和6年10月31日(木)

## 中身がぎっしり詰まった2時間でした

～心に残る運動会～

校長 板津 英文

10月24日。雨で1日遅れの運動会を行いました。当日の朝、準備のため、運動会の開始時刻を30分遅らせてのスタートとしました。開会式、閉会式も含めて、すべてを約2時間で終えることができました。

運動会後に振り返ってみると、「中身がぎっしり詰まった2時間」だったと感じました。そう感じたわけを考えてみました。

### ◎競技中、演技中の表情から

競技では、一緒に走る仲間になんか負けたくないという気持ちがよく表れた、一生懸命な表情が素敵でした。演技では、仲間と一緒に体を動かすのがとても楽しいというような気持ちがよく表れた、ニコリ笑顔が印象的でした。

演技の時間は、低中高それぞれ、5分間くらいです。普段の生活の中の5分間は、あっという間です。でも、運動会では、5分間で、みなさんの素敵な表情をたくさん見られて、とてもうれしい気持ちになったためか、とても長く、中身が詰まった5分間に感じました。

### ◎競技と競技の間などの動きから

運動会の開始時刻を30分遅らせました。でも、終了時刻は変えることができません。前日に、各学級では、どんな行動をすれば、時間を短縮できるかなどについて、話題にしました。

当日は、どの学年も競技と競技の間、演技と演技の間の動きがとてもスムーズでキビキビしていました。このことで、競技や演技のすばらしさが引き立っていました。そして、プログラムを変えたわけでもないのに、予定通りの終了時刻に終えることができました。すばらしいと思いました。今年度の運動会は、とても「心に残る運動会」となりました。



1・2年生演技の様子



3・4年生演技の様子



5・6年生演技の様子